

ゆうゆう (主婦の友社) 9月号  
表紙『女優：檀ふみさん』 <2014.8.1 売り>  
STEFANIA CARERRA/ワッピース F14-0318

これが本当に「歩きやすい靴」

# ゆうゆう

50代からがおもしろい!

You You

2014 9月 SEPTEMBER

さらめく水辺をめぐる旅  
星野知子さん

小林照子さんの“温冷美容”  
免疫力を上げるヘルシー料理  
真夏の快眠セラピー

檀ふみさん  
ゆゆうインタビュー

増税時代の  
年金生活術



「1年間・2年間定期購読」  
をお申し込みいただくと  
TAKEFU 漬布  
竹のガーゼハンカチ  
2枚セット  
または  
図書カード500円分  
プレゼント

団塊の男たちに

聞きたい!

武田鉄矢さん

ヨネスケさん

鎌田 実さん

特別インタビュー

吉沢久子さん

桐島洋子さん

この人に聞きたい

林家たい平さん

特集「もつとシンプルな暮らしがしたい」  
小さな暮らしの  
始め方  
●最期まで暮らせる家にリフォーム  
●夫を亡くして家具や収納を見直す



見た目の年齢が若い人は  
病気の治りも  
早いんですって！



ワンピース15万円+税/ステファニア カレラ(アクアモレ)06-6263-2980) ネックレス1万8000円+税、ピアス1万2000円+税/ともに グレコ(デパッシュモード恵比寿本店)

年齢をオープンにする必要がないと私は思っているんです」

ネットで調べれば年齢なんて誰にもすぐにわかってしまう時代でもある。年齢が人にわかることが嫌なのではない。無神経に人の年齢をさらすことが当たり前になっている社会の風潮がおかしいと感じている。

誰かがノーと言わなくては変わらない。だから、檀さんはあえて言う。年齢を載せるのをやめましょうと。

「同じ年齢でも、微妙に見た目が若い人とそうでない人っていますよね。あるお医者さんに、体とか見た目が若い人は治りも早いって聞いたことがあったんです。本当の年齢より見た目が大事だって。若づくりではなく、若々しくあることはすごく大切なことです」

若々しさは、内面からにじみ出てくるものだとも思っている。「内面って、実は意外に年をとらないと思いませんか？ 私の中身は28歳以上じゃないんじゃないかなって思うことがあるんです」

その心は——檀さんが夢の中でちよっとときめいたりする男性がたいてい20代後半だから。

「20代後半って、もう子どもではない。でも決しておばさんじゃないんです……いい時期ですよ。もっとも私の場合は独身で、21歳のときから母と妹と、全く同じ生活をしてい

るので、気持ちの変化があまりない、成長していないということなのかもしれない……」

若い頃から変わらないことに、辞書好きというものもある。

「今も辞書を引くのが大好きなんです。昔ながらの重い辞書も、電子辞書も、いろいろ持っています。辞書があれば、わからないことがすぐ調べられるでしょう。こんな面白いものはないと思います」

電子辞書ができる前にも、海外に出かけるとき、重たい英和、和英、国語の各辞典を必ず持って出た。

今年のサッカーワールドカップブラジル大会に際しては日本チームの対戦相手、コロンビアってどこにあるのかな。コートジボアールはと地図で調べたりもした。

「こんなに小まめに調べる人間もないと思うのに、どうして覚えてないんだろうって悲しくなったりするんです。3日前に引いた言葉、また調べたりするんですもの。向学心があって勉強するのが好きなので、気が長いからやっていると笑った。品よくふわりと笑った。

現実のときめきはあつたりするのだろうか。

「今は母のことでもいい。ときめくと大変なことになるので、夢見るくらいでちょうどいいかな。……本当は欲しいんですけどね」



撮影の待ち時間も平気だし  
NGを出されてもイライラしない。  
そんなところは、女優向き

に反省しました。仕事から受ける刺激も私には必要ですから。来年のNHK大河ドラマ『花燃ゆ』のお話を思い切ってお受けしました」

学生時代は公務員志望。今、女優の仕事が好きに  
檀さん自身はどんなお母さんに育てられたのだろう。

「松陰の母というのが嬉しいんです。昭和50年代の大河ドラマで篠田三郎さんが松陰をなさったことがあって、そのときの台詞をいまだに覚えていくくらい好きでしたから」

安政の大獄で処刑される前日、松陰が語る言葉だという。

「人生の長さに関係なく、どの人生にも春夏秋冬が必ずある……って。若くして、死を目前にしてそう言うの。いいでしょう。……そんな魅力的な息子がいるなんて。」

私が演じる松陰の母はなかなか面白い人なんです。子どもがあかぎれに悩んでいると、あかぎれは恋しき人の形見かな、文(踏み)見る度に逢いたく(あつ痛く)もある。なんて歌を詠んでしまう。そんな家の子どもだったから、松陰はあのスケールの大きさがあつたんじゃないかしら。おおらかで、ユーモアたっぷり。の母親を表現できたらいいですね」

「母は松陰の母と正反対で、子どもを型にはめようとするタイプでした。とにかく人と違うことはしてくれないという……ですから私が女優になったときはとても心配していました」

檀さんが女優になったのは、作家の父・檀一雄さんが強気に薦めたからだだった。

「私には母の教えがしみついていましたから、女優になるなんて考えたこともなかったんです。公務員とか、きちんとお給料をもらえるOLになるつもりだったんです。それで父に、女優はやりません。背も高いし、顔もまずいし、演技のえの字も知らないしって言いましたら、背がなんだ、顔がなんだ、チャップリンを見なさい、い、ジャン・ギャバンを見なさい。あの人は顔がいいか、スタイルがいいか。みんな努力です！って」

## Fumi Dan

た。憑依したみたいに演技をする人、まばゆいばかりに美しい人……そういう人がこの世界には山ほどいらっしやる。でも、20代後半に、ラファディオ・ハーンの妻の役をやったとき、違う人生をそのまま体験しているような不思議な感覚を味わったんです。そのときに、私は何でもできる女優ではないかもしれないけれど、何にもできない女優でもないんじゃないかと思いました。気が長いので撮影の待ち時間も平気ですし、NGを何回出されてもイライラしませんし。案外向いているのかもしれないと思います」



エッセイストとしても活躍する。「女優って悲しいことや恥ずかしいことが次から次に起きるんですよ。でもそれを書くことがラクになります。女優と書くということのふたつ、あつて幸せだなと思います」

若づくりではなく、若々しくあることが大切

ところで檀さん、年齢表記廃絶の会・会長を自称している。「飛行機に乗るとき年齢を尋ねられるのは日本ぐらい。新聞に出れば誰でも必ずカッコで年齢が入られてしまう。これはおかしくないですか。」